

平成30年度第1回日の里地区コミュニティ運営協議会

組織改革特別委員会 議事録

日時：平成30年6月28日（木）19：00～21：00

会場：コミュニティ・センター日の里会館

コミュニティ・ルーム

1. 協議会会長挨拶

皆様お忙しいところお集まりいただきありがとうございます。

今回組織改革特別委員会を立ち上げた理由の一つは、教育文化部会から「文化祭を一つの部会でやるのはどうなのか」という提案があり、もっともな話だと思いましたので、まちづくり推進特別委員の意見をうかがい、過去の組織図を参考に組織図の案を作成いたしました。皆さんの同意があれば変えていきたいと思っています。そしてそれに伴いまして一部、部会のところの規約の改正を検討したいと思っています。

もう一つは、広報部会を広報委員会にしようかと思ひ、会則の案を入れておりますので皆さんのご意見をお伺いしたいと思います。これはあくまで案ですので、部会としてやっていきたいのであればそれでいいと思ひますし、長年やってこられた中で、部会としてやるべきなのか、委員会としてやるべきなのか、皆さんで議論していただきたいと思います。

組織改革ということですので、他の部会の在り方についても、皆さんのご意見を伺いたい。日の里地区として「部会」をどのようにしていくか、各町内から代表をだしていただいておりますがそのままでいいのか、あとで議論していただきたいと思います。

兎にも角にも、優先順位としては教育文化部会から文化祭を別の部会に移して、案としては青少年育成部会と地域づくり部会、みたいなものとして立ち上げていけたらと思っております。協議会としてはそのような結論になりましたので皆さんのご議論を頂きたいと思ひます。

あとで他の部会についても意見をお伺いして、どのようにすれば住民の皆さんに喜んでいただけるものになるのか、皆さんのご意見を伺いたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

2. 委嘱状交付 協議会役員を除く各委員に委嘱状が交付された。

3. 自己紹介 各委員の自己紹介がなされた。

4. 議事

① 組織改革特別委員会委員長および副委員長の選出について

黒川協議会会長より

委員長：黒川委員長（コミュニティ運営協議会会長）

副委員長：浦副委員長（コミュニティ運営協議会副会長）

とする案が提出され、賛成多数で選任された。

② 組織改革特別委員の任期について

平成30年6月14日～平成31年3月31日とする。

③ 平成30年度組織改革・一部規約改正事項について

1) 日の里地区コミュニティ運営協議会部会改正について

(黒川委員長より)

- (1) 「日の里地区コミュニティ組織改革特別委員会設置について」(平成30年4月7日)の資料に基づき本委員会設置の経緯を説明。
- (2) 組織改革特別委員会名簿を示し、構成員については皆様のアドバイスをいただき、10名から21名へ変更したことを報告。
- (3) 日の里地区コミュニティ運営協議会組織図の平成15年度、16年度、29年度、12地区運営協議会部会活動状況図および平成30年度日の里地区コミュニティ運営協議会組織図を示し、説明。
この組織図では、教育文化部会を青少年育成部会と地域づくり部会に分け、青少年成部会では青少年に特化したことをやり、地域づくり部会では文化祭や新春の集いをやるように考えている。広報部会については平成15年度のように広報委員会にしてはどうかと提案。
組織図(案)について皆さんのご意見をお伺いしたい。

(教育文化部会部会長より)

文化祭はコミュニティの行事で、それを教育文化部会が手伝うものかと思っていた。文化祭の日程まで教育文化部会で決めるということだったので驚いた。何年も前からおかしいという話があり、参加者の方たちに実行委員会を立ち上げて開催してもらうことも提案したがうまくいかなかった。
参加者の方は文化祭が教室の発表の場にすぎないという認識なので、「協議会の文化祭」としてほしいと協議会役員会に去年提案した。

(意見：委員7)

この委員会はそもそも必要のない「活動内容」を削って、町内会長の負担軽減を考えるための組織改革かと思っていた。町内会長をクジで決めなくてはならないほど町内会は危機的状況であることは認識されていないのか。町内会長は年金生活者がやればよいという意見もあるが、人生の時間の使い方は人それぞれなので、若い世代でも町内会長をやるようにしてほしい。

催し物に無理に町内の方をお願いして集まるのが日の里で、それが20人程度のものであれば、必要のない行事なのでは。若い人たちはここに書いてあるような活動は知らない。

我々の世代だけで決めていいことなのか？と思ったので若い方も今回委員に推薦させてもらった。若い人が「やめていい」といった行事はやめていいのではないか。活動内容欄は空白にして、部会の人に決めてもらったほうがいいのか。

日の里の未来を担うのは若い人たちなので、年寄りも若い方にくっついていくほうがいいのか。

(黒川委員長)

それはそうですが、今回は教育文化部会の在り方について議論していただきたい。今、教育文化部会と青少年育成会の若い方でいい話し合いが行われている。次の日の里を担うのは若い人達で、その若い人たちを育てていくというのが私達の責任ですから、新しい部会を立ち上げて若い人たちに頑張ってもらいたいことはいいことではないかと思います。

(教育文化部会 部会長)

教育文化部会のおいおいでクラブの行事も、今まで年10回行っていたものを来年に向けて今年は年5回程度に減らしている。来年以降部会に関わってくださる若い小学校PTA関係者と活動内容を考え、必要のないものは削っていったらいい。

文化祭も構成団体が変わるので、文化祭参加者に組織が変わっていくことを説明し、参加者からも実行委員を出してもらって改革を目指している。

他の部会についても、「市からおりてきたものはすべてやらないといけないのか」というクレームが町内から出ている。健康福祉部会の「グランドゴルフ」は準備、採点、人が足りなければ選手にまでならなければならないため、健康福祉部会になりたがる人がいなくなるのではないかと。教育文化部会のみならず他の部会も改革してほしい。

「花いっぱい運動」は強制的に割り当てが来ているが、駅から遠い町内はやってくれる方がおらず、町内会長がやらないといけなくなる。そこまでしてやる必要があるのか。

(黒川委員長)

まず教育文化部会から文化祭を外し、青少年育成部会で「人を作る」ということからしないといけないと思ったから最優先でやりたいと思っている。

例えば健康福祉部会なら健康に関連したことを日の里でやられている方にやってもらえばいいのではないかと、という意見もある。

まずは教育文化部会を2つにわけることから始めたらどうか。

(意見：委員 16)

教育文化部会だけが忙しいのか。他の部会も忙しいのでは。他の4部会も全て、同時に内容を検討して良いものを残すべきである。

(教育文化部会部会長)

文化祭のこと、教育文化部会を青少年育成部会にすること、これらのことをきっかけに特別委員会を立ち上げることは総会で承認を得ている。

これを早く承認していただかないと文化祭もできない。

(意見：委員 15)

平成15年から教育文化部会に入っています。大人も一緒に子どもの社会教育をやりたい、ということで「教育文化」という名前になり、平成15年にあった「公民館部会」と「青少年育成部会」が一緒になった。

それ以前は市からの補助金体制も今と異なっていた。その後、市から子どもに特化したものをやってください、という内容の補助金「子どもの居場所づくり」が下りてきた。そして、子どもが関わる教育文化部会がやることになった。年10回程度行事をしてください、と言われ10回真面目にこなしていた。

市からおりてきたものは絶対やらないといけない、という認識で始めてしまったのでズレが生じている。

平成15年の頃はコミセンは勉強する場所という認識で、子どもの遊び場としては考えられなかった。子育てサロンをコミセンで行うことも反対される時代だった。しかし時代は変わってきて「子どもも大人と同じようにいろいろな活動をさせるべき」という考えになった。

市の条件も「子どもの居場所づくり」の補助金についてはほかの部会の行事とあわせて10回でいい、とゆるくなった。

前からやっていることを絶対やらなければいけないのかと考えて少しずつ変えてきているし、市からも考え方を柔軟にいただいた。

10年ほど前は「子どもまつり」をやっていてすごく子どもが来ていた。それを教育

文化部会だけでやるのは大変だということで文化祭と一緒にしたが、文化祭が2日間で準備も合わせ1週間くらいかかった。これを教育文化部会だけでやるのは大変なので「子どもまつり」ははずされた。子どもたちの行事は「おいでおいでクラブ」（子どもの居場所づくり事業）があるからいいじゃないか、ということになった。

10年ほど前から文化祭については試行錯誤されてきたが、文化祭が3月で、部会長である町内会長の交代時期であるためうまく引継ぎがなされなかった。つまり、文化祭については3年前に急に出た話ではなく、10年ほど前から協議されてきたことを知っていただきたい。

（意見：委員14）

いい意見がたくさん出ているので、それぞれの部会で活動内容を検討されてはどうか。一年で町内会長が変わることが諸悪の根源なのでは。活動内容がわからないままこなさないといけなくなっている。途切れないように事務局体制をとるなど対策を考えてはどうか。

（意見：委員7）

町内会長は一年が限度。若い人はそれ以上できない。誰でもできるような仕事量にして町内会長の大変さをみんなにわかってもらいたい。

（意見：委員20）

結局、教育文化部会から文化祭をとって青少年育成部会にする、広報部会が広報委員会になる、その分地域づくり部会を追加する、ということですね。広報委員会はどこから人を集めてくるのですか。

全体の仕事数が減らないのであればいじってもしょうがない、という感じを受ける。他から人を連れてくれば成立するということですね。

（黒川委員長）

そうなります。広報委員会になれば町内の負担は減ります。

（広報部会副部会長）

広報部会編集委員は7人で広報誌を作ることを主にやっている。だいたい10日までに原稿をもらって、2日間編集委員がコミセンに出てきてパソコンで文章を打ち、割付を行い、印刷会社に初版作成を依頼する。一週間後に校正して月末に発行。コロニー印刷に印刷を頼んでいる。裏表両面の紙面で月平均10万円、年間140万の予算。

これ以外に4月にはホームページを見やすく新しくし、若い方向けにスマートフォンで見ることができるようにした。

広報誌の文章を現代仮名遣いにしないといけなかったり、読者の立場に立ってPRすることを心がけている。

日の里のへその部分、日の里の中心となる、載せないといけない記事を私たちは年間で計画し、まつりや敬老会などの行事を載せている。ということであれば140万は必要。

現在、広報編集委員7人、広報部会は41名でやっております。部会は町内代表の方も出てもらっている。今の体制であればなんとかこなすことができるので、できれば広報部会のままでお願いしたい。

（教育文化部会部会長）

部会については町内会長が部会長にならなくてもいい、ということを規約に追加してほしい。

(黒川委員長)

今年度から生活環境部会、教育文化部会は町内会長以外が部会長になってもらっている。他のコミュニティでは町内会長が部会長を兼務するところはない。他の部会もなんとか外していきたいという思いがある。

町内会長さんは大変なので町内会のことをしっかりやってもらいたい。

(浦副委員長)

町内会との連携が他の部会にありますが、今度の青少年育成部会はありません。町内から代表を出さなくていいメリットはありますが、コミュニティとの連携が取れなくなるのではないかと、という心配もある。

(黒川委員長)

代表が出なかったらつながりが薄くなるのかということも議論したいと思う。

(男女共同参画会会長・まちづくり推進特別委員コミュニティグループ)

今の青少年育成会には町内代表の方が入ってあるので大丈夫です。地域づくり部会には協議会の方が入ることだったので…

(黒川委員長)

協議会の者が入るのはおかしいということで組織図(案)から外しました。

(男女共同参画会会長)

その辺は考えながらやっていけばいいと思う。文化祭は実行委員会が立ち上がっているし、青少年育成会についても来年は自分たちが青少年育成部会としてやろうということで進んでいるので、このまま進んでいけたらと思う。

(意見：委員 16)

もう動き出しているのか。

(男女共同参画会会長)

少しは動き出している。総会で承認され、準備段階としてさせていただいている。総会のときに何の異議もなく、皆さんの拍手で承認された。活動内容についてはこういう場で考えていきたい。

子ども達が少なくなり高齢化が進んでいるので、子どもたちを大事にしながら次の世代を育てていきたい。

育成部会の活動内容については今年一年考えながらやっていきたいと思っている。

(意見：委員 7)

他所のコミュニティもこのような青少年育成部会での体制ですね。

(男女共同参画会会長)

そうです。他所のコミュニティにも聞きに行つてこのような組織図になっています。

(意見：委員 18)

平成15年当時検討したのは、町内会の意見をきちんと協議会につなぐということで各部会に全部町内会が入った。双方向の情報をつないでいくということでやった。

今後コミュニティの活動を見直していくときに、利害関係や考え方の違いがあるところがたまたまその町内が部会に所属してないため情報がつながらないなどあってはならない。協議会は住民の意見がきちんと反映されないといけない。協議会と町内会双方向の情報のやり取りが担保されていけばいいと思う。

(黒川委員長)

それは現在の組織からすれば、役員会に全町内会長が役員として出られていますので担保できると思います。青少年育成部会にも町内の方が入られますし、地域づくり部会についてはこれはイベントですので町内からは必要ないのではないかと思います。

(意見：委員 18)

以前は町内会が一本であって、役員会で簡単な報告しかなかった。よく様子がわからないので部会に町内会と部会より代表を出すようになった。

情報がつながればよいのだが、今の役員会の議事録は内容がよくわからない。若い方が参加できなくてもホームページを見れば協議会のことがよくわかるようにしていればいいのではないか。

住民から見て必要のない活動は無くし、納得できる活動をしていく必要がある。

(浦副会長)

議事録はホームページにあげるような方向で行きたいと思います。

(意見：委員 18)

今の役員会の議事録はわかりにくい。浦さんがホームページで載せられているものはわかりやすい。町内会長が敬老会の議事録を作るのではなく、協議会の報告事項は協議会が一本化して作成して町内会に流していけば、若い方も参加できなくても様子がわかる。ホームページでそういう仕組みを作してほしい。

(意見：委員 8)

私の町内は自治会加入率が悪く、役員をやってくれる人が少ない。同じ人が何年も、いくつかの役を兼務されていたりします。

教育文化部会が減ると役が一つ減るので嬉しい。育成部会は育成会から今も出しているのもので変わらない。

昔は人がたくさん人がいたのでたくさん行事をやれたが、今は人口も減り高齢化で厳しい状況なので若い人でも誰でもやれるようにしてほしい。

これからもずっと時代に合わせて変えていけばいいのではないか。

(意見：委員 21)

部会は4つでないといけないので地域づくり部会ができる代わりに広報部会が広報委員会になっているのではないか。

(黒川委員長)

それは違うと思います。広報は部会である必要があるのですか。

年間行事が決まっているのに部会に各町内から出す必要があるのですか。

(意見：委員 21)

必要だから出てきているんだと思います。

昔の広報委員会は、同じ「委員会」といえども内容が全く異なる。

日の里の広報誌はボトムアップでできてきたものであります。町内会やPTAのかたが集まって一体となって議論し、広報委員会のときは1部いくらかの値段を払ってい

ただいて発行していた。そして平成16年に部会になった。
部会長が必ずしも町内会長でなくてもいいのなら広報部会のままでいいのでは。

(黒川委員長)

初めに言った通り、部会のままが良ければ部会のままでいいと思う。ただ各町内から広報部会員を出す必要はないのではないかな。

(意見：委員 21)

必要だと思う。意識合わせをしていないところから記事を出してといわれても、だいたい読まない。各部会からも広報部会に出てきて活動状況を教えていただきたいと思います。日の里の広報の意識合わせをしていきたい。積極的に自分たちの記事を載せてほしいとアピールがないとすすまない。

ホームページは協議会・町内会活動の重要なインフラであるべきで、もっと活用すべき。回覧板を転載したり、町内会の情報を共有するうえでのエネルギーを使わない、有効なやり方だと思う。9丁目は非常によくできているのでもしよければ他の町内も参考にされてはどうか。そういうことを検討する場としても広報部会全体会議は意味があると思う。

昔は確かに広報委員会であったが、名前は同じでも内容が全く違うことをご理解いただきたい。

(浦副委員長)

次回に広報部会の現状を報告していただけますか。

(意見：委員 21)

自主会計でやっていたものが部会になったのに、また自主会計の委員会になるのは大変。

委員会になっても今と同じ機能を果たせるのであればいいのですが、何もわざわざ委員会にする必要はないのではないかな。

(男女共同参画会会長)

ユリックスに他地区のコミュニティの新聞が貼ってありますが、それを委員の方に見ていただいてどう思われるか聞きたい。

(黒川委員長)

広報部会のことは次回じっくり話します。

青少年育成部会と地域づくり部会と分けることについてどう思われますか？

(意見：委員 16)

もう現に走っているんですよ。止めるわけにはいかないのでしょう。黒川会長が「動き出していますからこれで行かせてください。」と言えばそれで決まりじゃないですか。議論するのはおかしいですよ。

(意見：委員 21)

日の里まつりと同じようにやりたい人たちが集まって委員会にすればいいのではないですか。地域づくり部会にする必要があるのですか。広報部会も広報委員会にされたじゃないですか。

(黒川委員長)

組織図に「文化祭」「新春の集い」等とかいてあるじゃないですか。地域のイベント

をするのに部会がいいのでは、と思っているだけです。全部まとめているんです。

（意見：委員 7）

総会で決まっていますからね。その時に反対されていたらよかったのですが。委任されて決まったことならしょうがない。

（意見：委員 21）

議案が一般には周知されていない。

（黒川委員長）

代議員さんにはお知らせしています。委任されているはず。代議員さんは町内の代表でしょう。委任されたらしょうがない。ご自分が積極的に毎回出ると言われたらどうですか。違いますか。

（意見：委員 8）

専門の人がパソコンで入力してくれれば助かる。町内から広報部会に出してくれと言われるのがつらい。

（広報部会副部会長）

原稿は手書きで大丈夫。ホームページに載せるのは事務局の方がやったださるので大丈夫。

（意見：委員 8）

事務局の方の仕事が増えるのでは？

（広報部会副部会長）

事務局職員は6人いるので担当の人をつけてやるべきだと思う。協議会の会長なり副会長がOKしたものを載せるようにすればいいのではないか。

（意見：委員 18）

できない町内はしょうがないが、協議会のことはホームページに載せるべき。市ともそういう約束だった。

（意見：委員 16）

組織改革特別委員会は組織図に入るのか。まちづくり特別推進委員会も特別委員会だが何をしているところ？同じ特別委員会だから一緒にやればいいのでは。ここで決まったことを役員会で「やります」と報告するのか。ここは議決する会議？えらく重要な委員会では。

（黒川委員長）

組織改革特別委員会は組織図には入りません。今さら言われても困る。「特別委員会を設置します」ということは総会で承認をもらっている。

（意見：委員 21）

事前の情報が足りない。特別委員会を設置しますよ、ということをホームページにでも議案書を載せてくれればよかった。何が議題にあがるかわかっていれば私も総会に出ました。総会に出る前に議案書がなぜホームページに出なかったのか？有効なインフラだと思うが。ぜひ活用してほしい。

(男女共同参画会会長)

よりよくするために話し合っているのだから、広報の話は次回でいいのでは？
あまり色々と話し合っても収拾がつかない。

(意見：委員 16)

走っているなら止めるわけにはいかないのでしょう。

(意見：委員 6)

まず地域づくり部会と青少年部会を集中的に立ち上げて内容の濃いものにしていく、そして他の部会の効率化と軽減を並行してやっていきましょう。

(多くの委員)

それでいきましょう。

(黒川委員長)

よろしいでしょうか。賛成のかたの挙手をお願いいたします。

(多くの委員)

⇒挙手にて承認。

(黒川委員長)

今回は広報部会について議論をしたいと思います。

(意見：委員 11)

特別委員会の規約や会則についてはいいのですか？
全く無くて議決して提案していくのですか。

(黒川委員長)

規約については諮問委員会というのがありますので、これに準じてやっていきたい
と思います。次回お渡しします。

(意見：委員 6)

これだけ部会があるので全員でやっては時間がかかる。小委員会にわけて話して
は？

(意見：委員 16)

まだ始めたばかりなのでわからない。2回か3回やってからがいいのでは。

(黒川委員長)

今回はこのメンバーで広報部会について話していきたい。

(意見：委員 16)

月に二回もこれから会議をするのか？多いのでは？誰が決めたのか？

(委員 6・委員 13)

これは10月までに決めないと次の役員を決める時期になってしまう。

(市 オブザーバー)

4丁目に住んでいますし、青少年育成部会に所属しています。全委員が現存のそれ

それぞれの部会の活動内容をすべてわかっているとは言えないので、ここでは方向を決めて、あとはそれぞれの部会で話し合ってもらったらどうか。来年の事業計画を考える中で、今年やりながら考えていけばいいのではないかな。

どこの役員会か運営委員会に付けるか、などは事務局から提案があればいいのではないかな。

(黒川委員長)

ここの第二回の運営委員会で承認を得たいので10月か11月を期限に考えている。

(意見：委員17)

この話は役員会で議題にあげられるのか。

(黒川委員長)

あげます。

次回7月12日(木) 19時～
(今後9月まで毎月第2、第4木曜開催。)

《出席者》

【組織改革特別委員】

黒川委員長 (コミュニティ運営協議会会長)	浦副委員長 (コミュニティ運営協議会副会長)
飯塚委員 (コミュニティ運営協議会副会長)	大島委員 (コミュニティ運営協議会会計)
緒方委員 (コミュニティ運営協議会事務局長)	山村委員 (平成29年度7丁目町内会長)
岡本委員 (平成29年度3丁目町内会長)	西山委員 (AP1区町内会長・広報部会副会長)
島本委員 (教育文化部会部会長)	廣瀬委員 (広報部会副会長)
田和委員 (生活環境部会部会長)	永嶋委員 (男女共同参画会会長)
大平委員 (日の里地区福社会会長)	池淵委員 (ひのっこサロン代表)
高尾委員 (広報部会部会員)	谷委員 (平成29年度8丁目町内会長)
松尾委員 (ホームページ推進委員)	山本代表 (広報部会部会員)
梅田代表 (3丁目代表)	牛島代表 (広報部会部会員)

【宗像市役所コミュニティ協働推進課】 平川係長

【事務局書記】 原